

## 第4章 秋田県の医師数の将来推計

### 1. 秋田県の供給医師数の将来推計

秋田県の医師数は、平成20（2008）年末現在で2,307人（医療施設勤務医師数は2,180人）である。

図表 4-1-1 従事場所別にみた秋田県の医師数の推移（平成10～20年）

	平成10年	12年	14年	16年	18年	20年
総数	2,127人	2,155人	2,217人	2,239人	2,278人	2,307人
医療施設	2,019人	2,047人	2,098人	2,108人	2,142人	2,180人
介護老人保健施設	35人	35人	35人	43人	47人	49人
上記以外の施設等	61人	63人	71人	70人	68人	59人
無職・不詳	12人	10人	13人	18人	21人	19人

出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省

平成22（2010）年から平成37（2025）年における秋田県の供給医師数を下記の方法により推計した。

□平成14（2002）年、平成16（2004）年における秋田県の5歳階級別医師数に基づき、平成15年（2003）年の5歳階級別医師数を推計した。

図表 4-1-2 平成15年における5歳階級別医師数の推計（秋田県）

	平成14年 【調査値】	平成15年 【推計値】	平成16年 【調査値】
25～29歳	246	228	210
30～34歳	262	267	271
35～39歳	318	302	286
40～44歳	304	311	317
45～49歳	300	299	298
50～54歳	218	240	262
55～59歳	127	137	147
60～64歳	95	104	113
65～69歳	100	97	94
70～74歳	106	99	91
75～79歳	96	95	93
80～84歳	30	36	41
85歳以上	15	16	16
計	2,217	2,228	2,239

□前項で推計した平成 15（2003）年と平成 20（2008）年の 5 歳階級別医師数に基づき、5 歳階級別の医師数の 5 年ごとの変化率を算出した。

図表 4-1-3 医師数の 5 年ごとの変化率の算出

	平成 15 年		平成 20 年	5 年ごとの医師数の変化率	
29 歳以下	228		205		
30～34 歳	267	→	241	25～29 歳 ⇒ 30～34 歳	1.05702
35～39 歳	302	→	270	30～34 歳 ⇒ 35～39 歳	1.01313
40～44 歳	311	→	296	35～39 歳 ⇒ 40～44 歳	0.98013
45～49 歳	299	→	295	40～44 歳 ⇒ 45～49 歳	0.95008
50～54 歳	240	→	283	45～49 歳 ⇒ 50～54 歳	0.94649
55～59 歳	137	→	231	50～54 歳 ⇒ 55～59 歳	0.96250
60～64 歳	104	→	132	55～59 歳 ⇒ 60～64 歳	0.96350
65～69 歳	97	→	97	60～64 歳 ⇒ 65～69 歳	0.93269
70～74 歳	99	→	95	65～69 歳 ⇒ 70～74 歳	0.97938
75～79 歳	95	→	79	70～74 歳 ⇒ 75～79 歳	0.80203
80～84 歳	36	→	64	75～79 歳 ⇒ 80～84 歳	0.67725
85 歳以上	16	→	19	80～84 歳 ⇒ 85 歳以上	0.53521

□平成 20（2008）年の 5 歳階級別医師数に前述の変化率を乗じて、平成 25（2013）年、平成 30（2018）年、平成 35（2023）年、平成 40（2028）年の 30 歳以上の医師数を推計したうえで、各 5 年ごとの年齢階級別の医師数の伸び率に基づいて、平成 22（2010）年から平成 37（2025）年の期間中の各年次の 5 歳階級別医師数を推計した。なお、29 歳以下の医師数については、平成 20（2008）年の 29 歳以下の医師数 205 人を起点として算出した上で、下記の医師数を累積で加えた。

- ・ 修学資金の貸与による義務年限者数（各年次の地域枠<sup>注1</sup>・元気枠分<sup>注2</sup>のうち、新たに知事指定病院に加わる医師数のみ）
- ・ 総合医師確保対策や初期臨床研修医のマッチング率向上の取組効果を平成 23（2011）年度以降、各年次で 5 人とした。

なお、医師の性別、年齢による勤務時間数の差異については考慮していない。

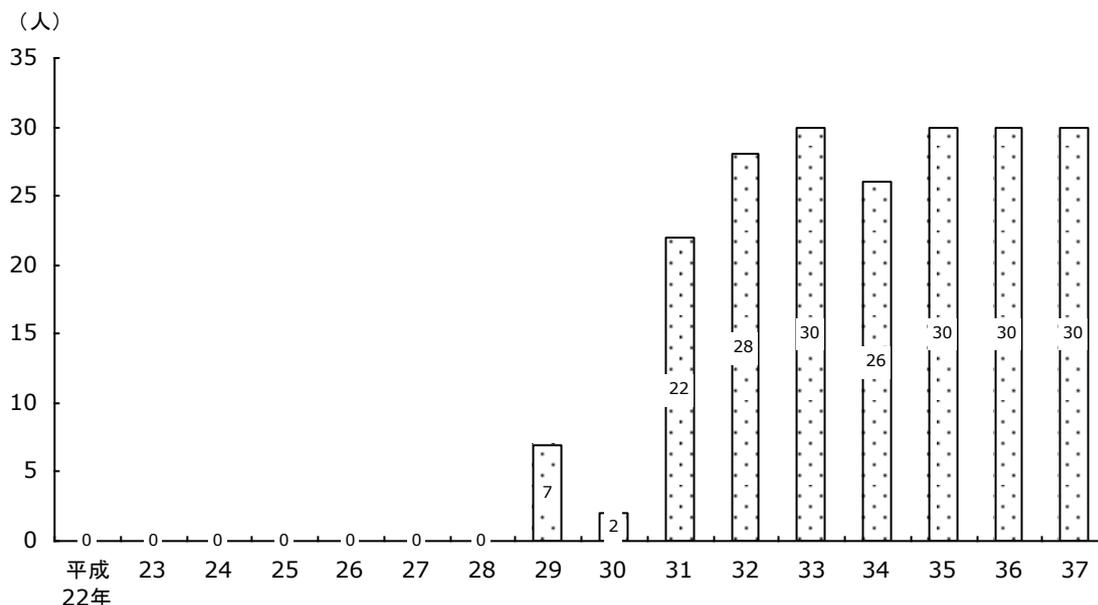
<sup>注1</sup> 地域枠医学生

秋田大学に地域枠で合格したもので、1 年生から 6 年生まで修学資金の貸与が義務づけられている。卒業後は 9 年間秋田県内の公的病院で勤務することで、修学資金の返済が免除される。なお、平成 20 年度以降に入学した地域枠学生は、義務年限 9 年間のうち 4 年間は知事が指定する公的機関に勤務することとなっている。

<sup>注2</sup> 元気枠医学生

秋田大学医学部 3 年次に在学するもので、熱意、成績、経済的な観点から大学の推薦を受けたもので、大学卒業まで 4 年間修学資金の貸与を受け、卒業後は 6 年間秋田県内の公的病院で勤務することで、修学資金の返済が免除される。なお、義務年限 6 年間のうち 3 年間は知事が指定する公的機関に勤務することとなっている。

図表 4-1-4 修学資金の貸与による義務年限者数のうち  
知事指定病院に勤務する医師数（平成 22～37 年）



□上記の方法により、平成 22（2010）年から平成 37（2025）年における秋田県の供給医師総数を推計した上で、秋田大学医学部に勤務する医師数を除外し<sup>注3</sup>、本調査における供給医師数とした。

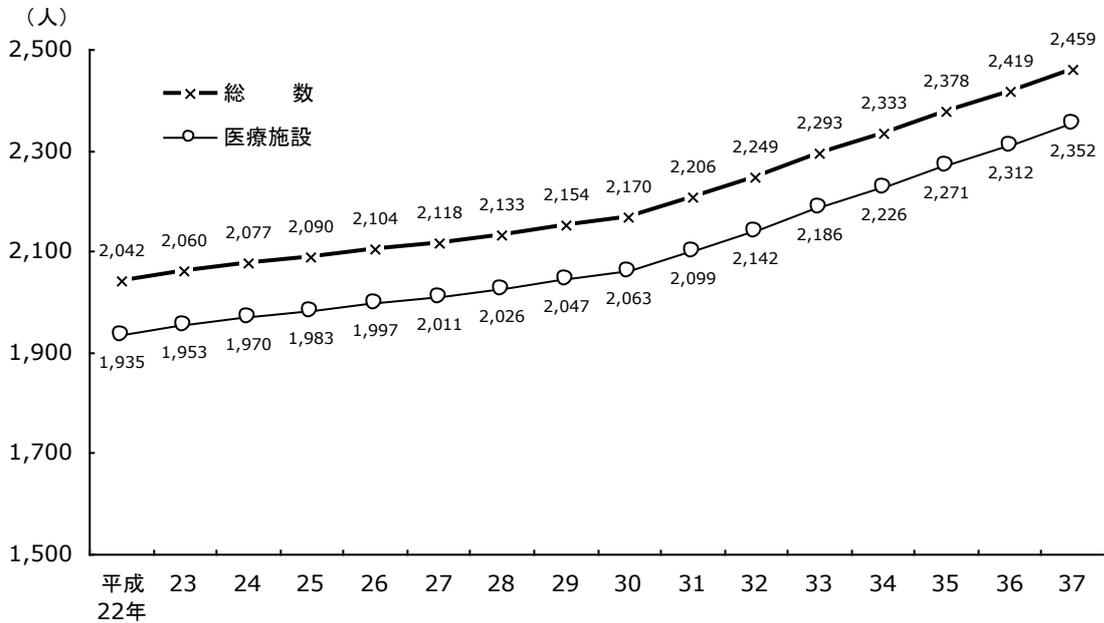
また、下記の設定により、そのうちの医療施設に従事する医師数を推計した。

- ①医療施設に勤務する医師数  
⇒医師総数から、下記の②～④の計を差し引いた人数
- ②介護老人保健施設に勤務する医師数  
⇒直近で把握されている 46 人で一定
- ③その他の施設等に勤務する医師数  
⇒直近で把握されている 51 人で一定
- ④無職・不詳の医師数  
⇒直近で把握されている 10 人で一定

<sup>注3</sup> 秋田大学医学部に勤務する医師数については、秋田大学では診療以外の研究や教育に携わる医師も多く、今回の調査では診療時間を基準に医師の労働時間を算定していることから「9時間勤務（P. 111）」を前提に将来医師数を推計することは、実態以上に余剰となる結果を惹起することや、秋田大学は医師研修機関であることに加えて、特定機能病院として高度先端医療行為を必要とする患者に対応する病院であり、患者一人当たりの医師数が多く、また、診療時間も長く、一律の条件の下での推計は困難であることから、供給医師数、必要医師数の両方について、除外して推計している。  
なお、秋田大学医学部に勤務する医師数は「秋田県医師充足状況調」により平成 22 年 5 月時点で 280 人であり、また、秋田大学医学部に勤務する臨床研修医は「医師・歯科医師・薬剤師調査」より平成 20 年末時点で 13 人であるため、推計期間中は計 293 人で固定した上で除外した。

この結果、平成 37（2025）年における供給医師数は 2,459 人（医療施設勤務医師数は 2,352 人）であり、平成 22（2010）年と比較していずれも 417 人の増加であった。

図表 4-1-5 秋田県の供給医師数の将来推計（平成 22～37 年）



図表 4-1-6 従事場所別にみた秋田県の供給医師数の将来推計（平成 22・27・32・37 年）

	平成 22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	2,042	2,118	2,249	2,459
医療施設	1,935	2,011	2,142	2,352
介護老人保健施設	46	46	46	46
上記以外の施設等	50	50	50	50
無職・不詳	11	11	11	11

## 2. 診療科別必要医師数の算出

### 1) 診療科別必要医師数の算出方法

調査結果から、診療科目別に医師1人1日当たり労働時間、外来診療時間、入院診療時間、外来・入院診療を行った延べ患者数を集計した。

なお、医師1人当たり診療可能患者数を算出するにあたっては以下の補正を行った。

①医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第19条の規定に基づき、入院（入院及び手術）に係る医師1人当たり診療可能患者数について、中核病院であれば9時間、その他の病院及び有床診療所であれば8時間で換算した患者数（病棟及び手術）が16人以上の場合は16人を上限として補正した。なお、その他の病院の内科系診療科及び精神科病院については、上記の換算に基づく医師1人当たり診療可能患者数の上限を48人とした。

②ただし、外科系診療科における入院（入院及び手術）に係る医師1人当たり診療可能患者数については、病棟の患者数のみで①の補正を行ったうえで、手術に係る患者数をこれに加えた。なお、手術については、複数の医師が1人の患者の手術を担当しているケースも多くあることから、患者数を3分の1に補正した。

③最後に、地域の中核病院に勤務する医師の労働時間を1日9時間、その他の病院に勤務する医師の労働時間を1日8時間、診療所に勤務する医師の労働時間を1日8時間とした場合の1人当たり診療可能患者数を算出した<sup>注4</sup>。

上記の補正により算出した医師1人当たり診療可能患者数により、平成22（2010）年～37（2025）年までの期間で推計した二次医療圏別患者数（患者所在地ベース）を除いて、診療科別に必要医師数（医療施設勤務医師数）を算出した<sup>注5</sup>。

<sup>注4</sup> 集計結果において1日当たり労働時間が9時間（中核病院）、8時間（その他の病院、診療所）に満たない場合は、それぞれ9時間、8時間の労働時間に換算して計算している。

<sup>注5</sup> 秋田大学医学部附属病院に受診した患者数は除外している。  
また、必要医師数のうち放射線科、麻酔科、病理診断科については、「医師の充足状況調（平成22年11月1日現在）」秋田県に基づき、それぞれ30人、59人、14人として計上している。

例：外科の中核病院勤務医の1人当たりの診療可能患者数の算出

【補正①・補正②】

		現 状		推 計
総労働時間（1日間）		9.8 時間		9.0 時間
外 来	外来診療時間	1.5 時間	入院・手術 の患者数に 係る補正  ➔	1.5 時間
	外来延患者数	8.1 人		8.1 人
	医師の外来・入院按分係数	0.20		0.20
入 院	入院診療時間	6.0 時間		6.0 時間
	入院延患者数	24.1 人		6.8 人
	医師の外来・入院按分係数	0.80		0.80
検査・その他の時間		2.3 時間		2.3 時間

【補正③】

		現 状		推 計
総労働時間（1日間）		9.8 時間		9.0 時間
外 来	外来診療時間	1.5 時間	1日9時間 労働として 圧縮した値  ➔	1.4 時間
	外来延患者数	8.1 人		7.5 人
	医師の外来・入院按分係数	0.20		0.20
入 院	入院診療時間	6.0 時間		5.5 時間
	入院延患者数	6.8 人		6.3 人
	医師の外来・入院按分係数	0.80		0.80
検査・その他の時間		2.3 時間		2.1 時間

### ■各二次医療圏単位の必要医師数の算出式

#### 必要医師数

$$\begin{aligned}
 &= (\text{外来の診療科目別の患者数} \\
 &\quad \div \text{診療科目別の医師1人1日当たり診療可能外来患者数} \times \text{医師の入外按分係数}) \\
 &+ (\text{入院の診療科目別の患者数} \\
 &\quad \div \text{診療科目別の医師1人1日当たり診療可能入院患者数} \times \text{医師の入外按分係数})
 \end{aligned}$$

例えば、中核病院における外科の推計外来患者数 793 人、推計入院患者数 604 人とした場合、必要医師数は以下のように算出される。

#### 中核病院の必要医師数

$$\begin{aligned}
 &= 793 \text{ 人} \div 7.5 \text{ 人} \times 0.20 + 604 \text{ 人} \div 6.3 \text{ 人} \times 0.80 \\
 &= 98 \text{ 人}
 \end{aligned}$$

なお、今回の推計では、二次医療圏で完結した医療提供を行った場合を想定しているため、二次医療圏間の患者の流出入については考慮していない。また、標榜診療科目と受付患者の疾病の不整合（例えば、外科を標榜していても、実態としては内科的診療を行っているなど）についての補正等はしていない。

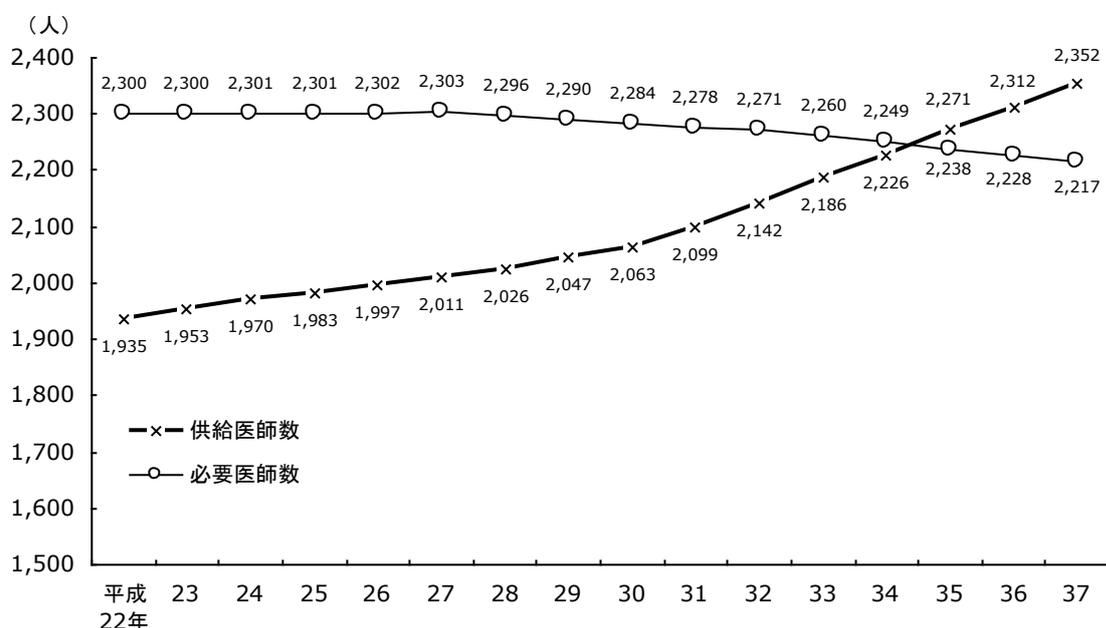
## 2) 診療科別必要医師数の算出結果

### (1) 県全体

必要医師数（医療施設勤務医師数）の推計の結果、必要医師数は平成 27（2015）年の 2,303 人をピークに、以後減少する傾向にあり、平成 37（2025）年には 2,217 人となった。

さらに、平成 22（2010）年～37（2025）年における供給医師数（医療施設勤務医師数）と必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移をみると、平成 34（2022）年においてほぼ充足するという結果になった。

図表 4-2-1 必要医師数と供給医師数の推移（平成 22～37 年）



#### 【推計上の留意点】

##### ○供給医師数

- ・ 29 歳以下の医師数については、平成 20（2008）年時点の医師数 205 人に、修学資金の貸与による義務年限者数（各年次の地域枠・元気枠分のうち、新たに知事指定病院に加わる医師数のみ）、総合医師確保対策や初期臨床研修医のマッチング率向上の取組効果分（各年次 5 人）を加えている。ただし、秋田大学医学部に勤務する医師・臨床研修医数（293 人）は含まない。また、推計にあたって、医師の性別、年齢による勤務時間数の差異については考慮していない。

##### ○必要医師数

- ・ 入院に係る必要医師数については本章 111 頁に記載する補正等を行っている。また、必要医師数の算出にあたっては、診療科別推計患者数から秋田大学医学部附属病院に受診した患者数を除いた上で、診療科別の医師 1 人当たり診療可能患者数で除することで推計している。また、標榜診療科目と受付患者の疾病の不整合については補正を行っていない。

さらに、診療科別に平成20（2008）年の秋田県の医師数と、平成22（2010）年、平成27（2015）年、平成32（2020）年、平成37（2025）年の必要医師数をみたものが図表4-2-2～図表4-2-4である。

図表4-2-2 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

【全 体】

	基準値 平成20年	必要医師数			
		22年	27年	32年	37年
総 数	1,887人	2,300人 ▲ 413人	2,303人 ▲ 416人	2,271人 ▲ 384人	2,217人 ▲ 330人
内 科	719人	945人 ▲ 226人	974人 ▲ 255人	976人 ▲ 257人	962人 ▲ 243人
小 児 科	109人	135人 ▲ 26人	118人 ▲ 9人	106人 3人	96人 13人
精 神 科	135人	188人 ▲ 53人	185人 ▲ 50人	179人 ▲ 44人	171人 ▲ 36人
外 科	190人	230人 ▲ 40人	232人 ▲ 42人	232人 ▲ 42人	227人 ▲ 37人
脳神経外科	45人	69人 ▲ 24人	71人 ▲ 26人	71人 ▲ 26人	69人 ▲ 24人
整形外科	145人	212人 ▲ 67人	213人 ▲ 68人	211人 ▲ 66人	208人 ▲ 63人
産婦人科	85人	96人 ▲ 11人	88人 ▲ 3人	82人 3人	75人 10人
皮 膚 科	32人	42人 ▲ 10人	41人 ▲ 9人	39人 ▲ 7人	37人 ▲ 5人
泌 尿 器 科	60人	77人 ▲ 17人	78人 ▲ 18人	78人 ▲ 18人	77人 ▲ 17人
眼 科	77人	91人 ▲ 14人	91人 ▲ 14人	90人 ▲ 13人	88人 ▲ 11人
耳鼻咽喉科	52人	48人 4人	46人 6人	43人 9人	41人 11人
リハビリテーション科	24人	38人 ▲ 14人	39人 ▲ 15人	38人 ▲ 14人	38人 ▲ 14人
そ の 他	111人	128人 ▲ 17人	127人 ▲ 16人	127人 ▲ 16人	127人 ▲ 16人
臨床研修医	103人	-	-	-	-

※1. 基準値とは、「医師・歯科医師・薬剤師調査」（厚生労働省 平成20年）の医師数である。

※2. 下段は平成20年の基準値との過不足の人数である。

※3. 以下のように診療科をまとめている。

内 科：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科

精 神 科：精神科、心療内科

外 科：外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科

産婦人科：産婦人科、産科、婦人科

そ の 他：形成外科、美容外科、小児外科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急科

図表 4-2-3 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

【病 院】

	基準値	必要医師数			
	平成 20 年	22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	1,207 人	1,541 人 ▲ 334 人	1,555 人 ▲ 348 人	1,541 人 ▲ 334 人	1,510 人 ▲ 303 人
内 科	377 人	615 人 ▲ 238 人	642 人 ▲ 265 人	648 人 ▲ 271 人	643 人 ▲ 266 人
小 児 科	55 人	69 人 ▲ 14 人	60 人 ▲ 5 人	53 人 2 人	48 人 7 人
精 神 科	113 人	163 人 ▲ 50 人	161 人 ▲ 48 人	156 人 ▲ 43 人	150 人 ▲ 37 人
外 科	160 人	181 人 ▲ 21 人	183 人 ▲ 23 人	183 人 ▲ 23 人	179 人 ▲ 19 人
脳神経外科	42 人	63 人 ▲ 21 人	65 人 ▲ 23 人	65 人 ▲ 23 人	64 人 ▲ 22 人
整形外科	91 人	146 人 ▲ 55 人	146 人 ▲ 55 人	144 人 ▲ 53 人	141 人 ▲ 50 人
産婦人科	48 人	57 人 ▲ 9 人	52 人 ▲ 4 人	49 人 ▲ 1 人	45 人 3 人
皮 膚 科	9 人	10 人 ▲ 1 人	10 人 ▲ 1 人	10 人 ▲ 1 人	10 人 ▲ 1 人
泌尿器科	43 人	55 人 ▲ 12 人	56 人 ▲ 13 人	55 人 ▲ 12 人	55 人 ▲ 12 人
眼 科	19 人	23 人 ▲ 4 人	22 人 ▲ 3 人	22 人 ▲ 3 人	22 人 ▲ 3 人
耳鼻咽喉科	26 人	20 人 6 人	20 人 6 人	19 人 7 人	18 人 8 人
リハビリテーション科	23 人	24 人 ▲ 1 人	24 人 ▲ 1 人	24 人 ▲ 1 人	24 人 ▲ 1 人
そ の 他	98 人	114 人 ▲ 16 人	114 人 ▲ 16 人	114 人 ▲ 16 人	113 人 ▲ 15 人
臨床研修医	103 人	- -	- -	- -	- -

図表 4-2-4 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

【診療所】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	680 人	759 人 ▲ 79 人	747 人 ▲ 67 人	729 人 ▲ 49 人	706 人 ▲ 26 人
内 科	342 人	330 人 12 人	332 人 10 人	327 人 15 人	320 人 22 人
小 児 科	54 人	66 人 ▲ 12 人	58 人 ▲ 4 人	53 人 1 人	48 人 6 人
精 神 科	22 人	25 人 ▲ 3 人	24 人 ▲ 2 人	22 人 ▲ 0 人	21 人 1 人
外 科	30 人	49 人 ▲ 19 人	49 人 ▲ 19 人	49 人 ▲ 19 人	48 人 ▲ 18 人
脳神経外科	3 人	6 人 ▲ 3 人	6 人 ▲ 3 人	6 人 ▲ 3 人	5 人 ▲ 2 人
整形外科	54 人	66 人 ▲ 12 人	67 人 ▲ 13 人	67 人 ▲ 13 人	67 人 ▲ 13 人
産婦人科	37 人	39 人 ▲ 2 人	36 人 1 人	33 人 4 人	30 人 7 人
皮 膚 科	23 人	32 人 ▲ 9 人	31 人 ▲ 8 人	30 人 ▲ 7 人	28 人 ▲ 5 人
泌尿器科	17 人	22 人 ▲ 5 人	23 人 ▲ 6 人	23 人 ▲ 6 人	23 人 ▲ 6 人
眼 科	58 人	69 人 ▲ 11 人	68 人 ▲ 10 人	68 人 ▲ 10 人	66 人 ▲ 8 人
耳鼻咽喉科	26 人	28 人 ▲ 2 人	26 人 ▲ 0 人	24 人 2 人	23 人 3 人
リハビリテーション科	1 人	15 人 ▲ 14 人	15 人 ▲ 14 人	14 人 ▲ 13 人	14 人 ▲ 13 人
そ の 他	13 人	13 人 0 人	13 人 0 人	13 人 0 人	13 人 0 人

## (2) 二次医療圏別にみた必要医師数

### ① 大館・鹿角

大館・鹿角では、平成 20（2008）年の医療施設勤務医師数が 178 人であったが、平成 22（2010）年に算出された必要医師数は 262 人であった。診療科別にみると、内科、精神科、整形外科といった診療科の医師数の増員が必要との結果になった。

図表 4-2-5 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

【全 体】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	178 人	262 人 ▲ 84 人	258 人 ▲ 80 人	250 人 ▲ 72 人	239 人 ▲ 61 人
内 科	74 人	117 人 ▲ 43 人	118 人 ▲ 44 人	116 人 ▲ 42 人	112 人 ▲ 38 人
小 児 科	10 人	9 人 1 人	7 人 3 人	7 人 3 人	6 人 4 人
精 神 科	9 人	20 人 ▲ 11 人	19 人 ▲ 10 人	18 人 ▲ 9 人	17 人 ▲ 8 人
外 科	14 人	21 人 ▲ 7 人	21 人 ▲ 7 人	20 人 ▲ 6 人	19 人 ▲ 5 人
脳神経外科	6 人	10 人 ▲ 4 人	10 人 ▲ 4 人	10 人 ▲ 4 人	9 人 ▲ 3 人
整 形 外 科	14 人	22 人 ▲ 8 人	22 人 ▲ 8 人	22 人 ▲ 8 人	21 人 ▲ 7 人
産 婦 人 科	8 人	13 人 ▲ 5 人	11 人 ▲ 3 人	10 人 ▲ 2 人	10 人 ▲ 2 人
皮 膚 科	3 人	5 人 ▲ 2 人	5 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 1 人	4 人 ▲ 1 人
泌 尿 器 科	7 人	9 人 ▲ 2 人	8 人 ▲ 1 人	8 人 ▲ 1 人	8 人 ▲ 1 人
眼 科	11 人	12 人 ▲ 1 人	12 人 ▲ 1 人	12 人 ▲ 1 人	11 人 ▲ 0 人
耳鼻咽喉科	7 人	8 人 ▲ 1 人	7 人 ▲ 0 人	7 人 0 人	6 人 1 人
リハビリテーション科	4 人	6 人 ▲ 2 人	7 人 ▲ 3 人	7 人 ▲ 3 人	6 人 ▲ 2 人
そ の 他	6 人	10 人 ▲ 4 人	10 人 ▲ 4 人	10 人 ▲ 4 人	10 人 ▲ 4 人
臨床研修医	5 人	- -	- -	- -	- -

図表 4-2-6 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移  
【病 院】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	116 人	193 人 ▲ 77 人	191 人 ▲ 75 人	186 人 ▲ 70 人	179 人 ▲ 63 人
内 科	44 人	88 人 ▲ 44 人	91 人 ▲ 47 人	90 人 ▲ 46 人	87 人 ▲ 43 人
小 児 科	5 人	7 人 ▲ 2 人	6 人 ▲ 1 人	5 人 0 人	4 人 1 人
精 神 科	8 人	18 人 ▲ 10 人	17 人 ▲ 9 人	16 人 ▲ 8 人	15 人 ▲ 7 人
外 科	11 人	15 人 ▲ 4 人	15 人 ▲ 4 人	15 人 ▲ 4 人	14 人 ▲ 3 人
脳神経外科	5 人	8 人 ▲ 3 人	7 人 ▲ 2 人	7 人 ▲ 2 人	7 人 ▲ 2 人
整形外科	11 人	17 人 ▲ 6 人	17 人 ▲ 6 人	16 人 ▲ 5 人	16 人 ▲ 5 人
産婦人科	6 人	9 人 ▲ 3 人	8 人 ▲ 2 人	8 人 ▲ 2 人	7 人 ▲ 1 人
皮 膚 科	1 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 0 人	1 人 0 人
泌 尿 器 科	4 人	5 人 ▲ 1 人	5 人 ▲ 1 人	5 人 ▲ 1 人	4 人 ▲ 0 人
眼 科	4 人	6 人 ▲ 2 人	6 人 ▲ 2 人	6 人 ▲ 2 人	5 人 ▲ 1 人
耳鼻咽喉科	2 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 ▲ 0 人
リハビリテーション科	4 人	6 人 ▲ 2 人	7 人 ▲ 3 人	6 人 ▲ 2 人	6 人 ▲ 2 人
そ の 他	6 人	10 人 ▲ 4 人	10 人 ▲ 4 人	10 人 ▲ 4 人	10 人 ▲ 4 人
臨床研修医	5 人	- -	- -	- -	- -

図表 4-2-7 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

【診療所】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	62 人	69 人 ▲ 7 人	67 人 ▲ 5 人	64 人 ▲ 2 人	60 人 2 人
内 科	30 人	28 人 2 人	27 人 3 人	26 人 4 人	25 人 5 人
小 児 科	5 人	2 人 3 人	2 人 3 人	2 人 3 人	1 人 4 人
精 神 科	1 人	3 人 ▲ 2 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人
外 科	3 人	6 人 ▲ 3 人	6 人 ▲ 3 人	6 人 ▲ 3 人	5 人 ▲ 2 人
脳神経外科	1 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人	2 人 ▲ 1 人
整形外科	3 人	6 人 ▲ 3 人	6 人 ▲ 3 人	5 人 ▲ 2 人	5 人 ▲ 2 人
産婦人科	2 人	3 人 ▲ 1 人	3 人 ▲ 1 人	3 人 ▲ 1 人	3 人 ▲ 1 人
皮 膚 科	2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 1 人	3 人 ▲ 1 人
泌尿器科	3 人	4 人 ▲ 1 人	4 人 ▲ 1 人	3 人 ▲ 0 人	3 人 ▲ 0 人
眼 科	7 人	6 人 1 人	6 人 1 人	6 人 1 人	6 人 1 人
耳鼻咽喉科	5 人	5 人 ▲ 0 人	5 人 0 人	4 人 1 人	4 人 1 人
リハビリテーション科	0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人
そ の 他	0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人

## ② 北秋田

北秋田では、平成20(2008)年の医療施設勤務医師数が43人であったが、平成22(2010)年に算出された必要医師数は97人であった。診療科別にみると、内科の医師数の増員が必要との結果になった。

図表 4-2-8 主な診療科目別必要医師数(医療施設勤務医師数)の推移

【全体】

	基準値	必要医師数			
	平成20年	22年	27年	32年	37年
総数	43人	97人 ▲54人	94人 ▲51人	90人 ▲47人	86人 ▲43人
内科	20人	39人 ▲19人	39人 ▲19人	37人 ▲17人	36人 ▲16人
小児科	3人	6人 ▲3人	5人 ▲2人	5人 ▲2人	4人 ▲1人
精神科	3人	7人 ▲4人	7人 ▲4人	7人 ▲4人	6人 ▲3人
外科	7人	13人 ▲6人	12人 ▲5人	12人 ▲5人	12人 ▲5人
脳神経外科	1人	3人 ▲2人	3人 ▲2人	3人 ▲2人	3人 ▲2人
整形外科	3人	8人 ▲5人	7人 ▲4人	7人 ▲4人	7人 ▲4人
産婦人科	2人	4人 ▲2人	4人 ▲2人	3人 ▲1人	3人 ▲1人
皮膚科	0人	0人 ▲0人	0人 ▲0人	0人 ▲0人	0人 ▲0人
泌尿器科	1人	4人 ▲3人	4人 ▲3人	4人 ▲3人	3人 ▲2人
眼科	1人	4人 ▲3人	4人 ▲3人	4人 ▲3人	4人 ▲3人
耳鼻咽喉科	2人	3人 ▲1人	2人 ▲0人	2人 ▲0人	2人 0人
リハビリテーション科	0人	4人 ▲4人	4人 ▲4人	4人 ▲4人	3人 ▲3人
その他	0人	3人 ▲3人	3人 ▲3人	3人 ▲3人	3人 ▲3人

図表 4-2-9 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

【病 院】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	23 人	69 人 ▲ 46 人	67 人 ▲ 44 人	64 人 ▲ 41 人	61 人 ▲ 38 人
内 科	9 人	29 人 ▲ 20 人	29 人 ▲ 20 人	28 人 ▲ 19 人	27 人 ▲ 18 人
小 児 科	2 人	3 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 0 人
精 神 科	1 人	5 人 ▲ 4 人	5 人 ▲ 4 人	5 人 ▲ 4 人	4 人 ▲ 3 人
外 科	5 人	10 人 ▲ 5 人	10 人 ▲ 5 人	9 人 ▲ 4 人	9 人 ▲ 4 人
脳神経外科	1 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人	2 人 ▲ 1 人
整形外科	2 人	6 人 ▲ 4 人	6 人 ▲ 4 人	5 人 ▲ 3 人	5 人 ▲ 3 人
産婦人科	1 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人
皮 膚 科	0 人	0 人 0 人	0 人 0 人	0 人 0 人	0 人 0 人
泌尿器科	1 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人
眼 科	0 人	2 人 ▲ 2 人	2 人 ▲ 2 人	1 人 ▲ 1 人	1 人 ▲ 1 人
耳鼻咽喉科	1 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 0 人
リハビリテーション科	0 人	1 人 ▲ 1 人	1 人 ▲ 1 人	1 人 ▲ 1 人	1 人 ▲ 1 人
そ の 他	0 人	3 人 ▲ 3 人	3 人 ▲ 3 人	3 人 ▲ 3 人	3 人 ▲ 3 人

図表 4-2-10 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

## 【診療所】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	20 人	28 人 ▲ 8 人	27 人 ▲ 7 人	26 人 ▲ 6 人	25 人 ▲ 5 人
内 科	11 人	10 人 1 人	10 人 1 人	9 人 2 人	9 人 2 人
小 児 科	1 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人	2 人 ▲ 1 人
精 神 科	2 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 0 人	2 人 0 人
外 科	2 人	3 人 ▲ 1 人	3 人 ▲ 1 人	3 人 ▲ 1 人	3 人 ▲ 1 人
脳神経外科	0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人
整形外科	1 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人
産 婦 人 科	1 人	1 人 0 人	0 人 1 人	0 人 1 人	0 人 1 人
皮 膚 科	0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人
泌 尿 器 科	0 人	1 人 ▲ 1 人	1 人 ▲ 1 人	1 人 ▲ 1 人	1 人 ▲ 1 人
眼 科	1 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人
耳鼻咽喉科	1 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 0 人
リハビリテーション科	0 人	3 人 ▲ 3 人	3 人 ▲ 3 人	3 人 ▲ 3 人	3 人 ▲ 3 人
そ の 他	0 人	0 人 0 人	0 人 0 人	0 人 0 人	0 人 0 人

### ③ 能代・山本

能代・山本では、平成 20（2008）年の医療施設勤務医師数が 144 人であったが、平成 22（2010）年に算出された必要医師数は 215 人であった。診療科別にみると、内科、外科、整形外科といった診療科の医師数の増員が必要との結果になった。

図表 4-2-11 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

	基準値	必要医師数			
	平成 20 年	22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	144 人	215 人 ▲ 71 人	213 人 ▲ 69 人	207 人 ▲ 63 人	198 人 ▲ 54 人
内 科	62 人	83 人 ▲ 21 人	85 人 ▲ 23 人	84 人 ▲ 22 人	81 人 ▲ 19 人
小 児 科	7 人	11 人 ▲ 4 人	9 人 ▲ 2 人	8 人 ▲ 1 人	7 人 0 人
精 神 科	10 人	14 人 ▲ 4 人	14 人 ▲ 4 人	13 人 ▲ 3 人	12 人 ▲ 2 人
外 科	16 人	32 人 ▲ 16 人	32 人 ▲ 16 人	31 人 ▲ 15 人	29 人 ▲ 13 人
脳神経外科	2 人	5 人 ▲ 3 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人
整 形 外 科	12 人	24 人 ▲ 12 人	24 人 ▲ 12 人	23 人 ▲ 11 人	22 人 ▲ 10 人
産 婦 人 科	7 人	10 人 ▲ 3 人	9 人 ▲ 2 人	8 人 ▲ 1 人	7 人 ▲ 0 人
皮 膚 科	2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 1 人
泌 尿 器 科	6 人	8 人 ▲ 2 人	8 人 ▲ 2 人	8 人 ▲ 2 人	7 人 ▲ 1 人
眼 科	7 人	8 人 ▲ 1 人	8 人 ▲ 1 人	7 人 ▲ 0 人	7 人 ▲ 0 人
耳鼻咽喉科	4 人	4 人 0 人	3 人 1 人	3 人 1 人	3 人 1 人
リハビリテーション科	2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人
そ の 他	4 人	10 人 ▲ 6 人	10 人 ▲ 6 人	10 人 ▲ 6 人	10 人 ▲ 6 人
臨床研修医	3 人	- -	- -	- -	- -

図表 4-2-12 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移  
【病 院】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	87 人	139 人 ▲ 52 人	139 人 ▲ 52 人	135 人 ▲ 48 人	130 人 ▲ 43 人
内 科	33 人	50 人 ▲ 17 人	52 人 ▲ 19 人	51 人 ▲ 18 人	50 人 ▲ 17 人
小 児 科	3 人	6 人 ▲ 3 人	5 人 ▲ 2 人	5 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 1 人
精 神 科	8 人	12 人 ▲ 4 人	12 人 ▲ 4 人	12 人 ▲ 4 人	11 人 ▲ 3 人
外 科	11 人	18 人 ▲ 7 人	18 人 ▲ 7 人	18 人 ▲ 7 人	17 人 ▲ 6 人
脳神経外科	2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人
整形外科	8 人	15 人 ▲ 7 人	15 人 ▲ 7 人	15 人 ▲ 7 人	14 人 ▲ 6 人
産婦人科	4 人	8 人 ▲ 4 人	7 人 ▲ 3 人	7 人 ▲ 3 人	6 人 ▲ 2 人
皮 膚 科	1 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人
泌 尿 器 科	4 人	6 人 ▲ 2 人	6 人 ▲ 2 人	6 人 ▲ 2 人	6 人 ▲ 2 人
眼 科	2 人	1 人 1 人	1 人 1 人	1 人 1 人	1 人 1 人
耳鼻咽喉科	2 人	2 人 0 人	2 人 0 人	2 人 0 人	1 人 1 人
リハビリテーション科	2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人
そ の 他	4 人	10 人 ▲ 6 人	10 人 ▲ 6 人	10 人 ▲ 6 人	10 人 ▲ 6 人
臨床研修医	3 人	- -	- -	- -	- -

図表 4-2-13 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

【診療所】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	57 人	75 人 ▲ 18 人	74 人 ▲ 17 人	71 人 ▲ 14 人	68 人 ▲ 11 人
内 科	29 人	33 人 ▲ 4 人	33 人 ▲ 4 人	33 人 ▲ 4 人	32 人 ▲ 3 人
小 児 科	4 人	4 人 ▲ 0 人	4 人 0 人	3 人 1 人	3 人 1 人
精 神 科	2 人	2 人 0 人	2 人 0 人	1 人 1 人	1 人 1 人
外 科	5 人	13 人 ▲ 8 人	13 人 ▲ 8 人	13 人 ▲ 8 人	12 人 ▲ 7 人
脳神経外科	0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人
整形外科	4 人	9 人 ▲ 5 人	8 人 ▲ 4 人	8 人 ▲ 4 人	8 人 ▲ 4 人
産婦人科	3 人	2 人 1 人	1 人 2 人	1 人 2 人	1 人 2 人
皮 膚 科	1 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人
泌尿器科	2 人	1 人 1 人	1 人 1 人	1 人 1 人	1 人 1 人
眼 科	5 人	6 人 ▲ 1 人	6 人 ▲ 1 人	6 人 ▲ 1 人	6 人 ▲ 1 人
耳鼻咽喉科	2 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 0 人	2 人 0 人	2 人 0 人
リハビリテーション科	0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人
そ の 他	0 人	0 人 0 人	0 人 0 人	0 人 0 人	0 人 0 人

## ④ 秋田周辺

秋田周辺では、平成 20（2008）年の医療施設勤務医師数（秋田大学医学部に勤務する医師を除く）が 852 人であったが、平成 22（2010）年に算出された必要医師数は 800 人であった。

ただし、「第2章 患者受療動向調査の結果」にもあるように、秋田周辺には他の圏域からの患者流入が顕著であり、流入患者に対応するための医師数が必要とされている現状があるため、表中では今回推計された必要医師数に比べて余剰となっている。

図表 4-2-14 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移  
【全 体】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	852 人	800 人	825 人	837 人	838 人
		52 人	27 人	15 人	14 人
内 科	303 人	325 人 ▲ 22 人	347 人 ▲ 44 人	360 人 ▲ 57 人	367 人 ▲ 64 人
小 児 科	59 人	57 人 2 人	51 人 8 人	46 人 13 人	42 人 17 人
精 神 科	67 人	79 人 ▲ 12 人	80 人 ▲ 13 人	80 人 ▲ 13 人	79 人 ▲ 12 人
外 科	75 人	54 人 21 人	56 人 19 人	59 人 16 人	59 人 16 人
脳神経外科	22 人	18 人 4 人	20 人 2 人	21 人 1 人	22 人 0 人
整形外科	66 人	71 人 ▲ 5 人	73 人 ▲ 7 人	75 人 ▲ 9 人	76 人 ▲ 10 人
産婦人科	36 人	34 人 2 人	32 人 4 人	30 人 6 人	28 人 8 人
皮 膚 科	17 人	20 人 ▲ 3 人	19 人 ▲ 2 人	19 人 ▲ 2 人	18 人 ▲ 1 人
泌尿器科	24 人	25 人 ▲ 1 人	27 人 ▲ 3 人	28 人 ▲ 4 人	28 人 ▲ 4 人
眼 科	42 人	29 人 13 人	30 人 12 人	30 人 12 人	30 人 12 人
耳鼻咽喉科	19 人	14 人 5 人	14 人 5 人	13 人 6 人	13 人 6 人
リハビリテーション科	9 人	10 人 ▲ 1 人	10 人 ▲ 1 人	11 人 ▲ 2 人	11 人 ▲ 2 人
そ の 他	65 人	65 人 ▲ 0 人	65 人 ▲ 0 人	65 人 0 人	65 人 0 人
臨床研修医	48 人	- -	- -	- -	- -

図表 4-2-15 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

【病 院】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	549 人	517 人 32 人	541 人 8 人	553 人 ▲ 4 人	558 人 ▲ 9 人
内 科	171 人	222 人 ▲ 51 人	240 人 ▲ 69 人	251 人 ▲ 80 人	257 人 ▲ 86 人
小 児 科	29 人	22 人 7 人	19 人 10 人	17 人 12 人	15 人 14 人
精 神 科	53 人	67 人 ▲ 14 人	69 人 ▲ 16 人	69 人 ▲ 16 人	68 人 ▲ 15 人
外 科	66 人	46 人 20 人	49 人 17 人	51 人 15 人	51 人 15 人
脳神経外科	21 人	17 人 4 人	19 人 2 人	20 人 1 人	21 人 0 人
整形外科	37 人	42 人 ▲ 5 人	43 人 ▲ 6 人	43 人 ▲ 6 人	43 人 ▲ 6 人
産婦人科	19 人	14 人 5 人	13 人 6 人	12 人 7 人	12 人 7 人
皮 膚 科	4 人	3 人 1 人	3 人 1 人	3 人 1 人	3 人 1 人
泌尿器科	19 人	15 人 4 人	16 人 3 人	17 人 2 人	17 人 2 人
眼 科	10 人	3 人 7 人	3 人 7 人	3 人 7 人	3 人 7 人
耳鼻咽喉科	10 人	5 人 5 人	5 人 5 人	5 人 5 人	5 人 5 人
リハビリテーション科	9 人	8 人 1 人	8 人 1 人	9 人 0 人	9 人 0 人
そ の 他	53 人	53 人 0 人	53 人 0 人	53 人 0 人	53 人 0 人
臨床研修医	48 人	- -	- -	- -	- -

図表 4-2-16 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

## 【診療所】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	303 人	283 人 20 人	284 人 19 人	284 人 19 人	280 人 23 人
内 科	132 人	103 人 29 人	107 人 25 人	109 人 23 人	110 人 22 人
小 児 科	30 人	35 人 ▲ 5 人	32 人 ▲ 2 人	29 人 1 人	26 人 4 人
精 神 科	14 人	12 人 2 人	12 人 2 人	11 人 3 人	11 人 3 人
外 科	9 人	7 人 2 人	8 人 1 人	8 人 1 人	8 人 1 人
脳神経外科	1 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 ▲ 0 人
整形外科	29 人	29 人 0 人	30 人 ▲ 1 人	32 人 ▲ 3 人	32 人 ▲ 3 人
産婦人科	17 人	20 人 ▲ 3 人	18 人 ▲ 1 人	17 人 ▲ 0 人	16 人 1 人
皮 膚 科	13 人	17 人 ▲ 4 人	17 人 ▲ 4 人	16 人 ▲ 3 人	16 人 ▲ 3 人
泌尿器科	5 人	10 人 ▲ 5 人	10 人 ▲ 5 人	11 人 ▲ 6 人	11 人 ▲ 6 人
眼 科	32 人	26 人 6 人	26 人 6 人	27 人 5 人	27 人 5 人
耳鼻咽喉科	9 人	9 人 ▲ 0 人	9 人 0 人	9 人 0 人	8 人 1 人
リハビリテーション科	0 人	2 人 ▲ 2 人	2 人 ▲ 2 人	2 人 ▲ 2 人	2 人 ▲ 2 人
そ の 他	12 人	12 人 ▲ 0 人	12 人 ▲ 0 人	12 人 ▲ 0 人	12 人 ▲ 0 人

### ⑤ 由利本荘・にかほ

由利本荘・にかほでは、平成 22（2010）年の医療施設勤務医師数が 197 人であったが、平成 22（2010）年に算出された必要医師数は 272 人であった。診療科別にみると、内科、整形外科、小児科といった診療科の医師数の増員が必要との結果になった。

図表 4-2-17 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移  
【全 体】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	197 人	272 人 ▲ 75 人	271 人 ▲ 74 人	267 人 ▲ 70 人	261 人 ▲ 64 人
内 科	79 人	105 人 ▲ 26 人	107 人 ▲ 28 人	107 人 ▲ 28 人	105 人 ▲ 26 人
小 児 科	8 人	22 人 ▲ 14 人	19 人 ▲ 11 人	18 人 ▲ 10 人	16 人 ▲ 8 人
精 神 科	11 人	20 人 ▲ 9 人	20 人 ▲ 9 人	19 人 ▲ 8 人	18 人 ▲ 7 人
外 科	26 人	33 人 ▲ 7 人	34 人 ▲ 8 人	34 人 ▲ 8 人	34 人 ▲ 8 人
脳神経外科	3 人	6 人 ▲ 3 人	6 人 ▲ 3 人	6 人 ▲ 3 人	6 人 ▲ 3 人
整 形 外 科	14 人	29 人 ▲ 15 人	30 人 ▲ 16 人	29 人 ▲ 15 人	29 人 ▲ 15 人
産 婦 人 科	9 人	13 人 ▲ 4 人	12 人 ▲ 3 人	11 人 ▲ 2 人	10 人 ▲ 1 人
皮 膚 科	4 人	7 人 ▲ 3 人	7 人 ▲ 3 人	6 人 ▲ 2 人	6 人 ▲ 2 人
泌 尿 器 科	4 人	6 人 ▲ 2 人	6 人 ▲ 2 人	6 人 ▲ 2 人	6 人 ▲ 2 人
眼 科	2 人	9 人 ▲ 7 人	9 人 ▲ 7 人	9 人 ▲ 7 人	9 人 ▲ 7 人
耳鼻咽喉科	5 人	6 人 ▲ 1 人	5 人 ▲ 0 人	5 人 ▲ 0 人	5 人 0 人
リハビリテーション科	2 人	7 人 ▲ 5 人	7 人 ▲ 5 人	7 人 ▲ 5 人	6 人 ▲ 4 人
そ の 他	11 人	11 人 ▲ 0 人	11 人 ▲ 0 人	11 人 ▲ 0 人	11 人 ▲ 0 人
臨床研修医	19 人	- -	- -	- -	- -

図表 4-2-18 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移  
【病院】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	138 人	193 人 ▲ 55 人	193 人 ▲ 55 人	191 人 ▲ 53 人	187 人 ▲ 49 人
内 科	39 人	69 人 ▲ 30 人	71 人 ▲ 32 人	71 人 ▲ 32 人	71 人 ▲ 32 人
小 児 科	6 人	10 人 ▲ 4 人	9 人 ▲ 3 人	8 人 ▲ 2 人	8 人 ▲ 2 人
精 神 科	10 人	19 人 ▲ 9 人	19 人 ▲ 9 人	18 人 ▲ 8 人	17 人 ▲ 7 人
外 科	25 人	29 人 ▲ 4 人	30 人 ▲ 5 人	30 人 ▲ 5 人	29 人 ▲ 4 人
脳神経外科	3 人	6 人 ▲ 3 人	6 人 ▲ 3 人	6 人 ▲ 3 人	6 人 ▲ 3 人
整形外科	9 人	22 人 ▲ 13 人	22 人 ▲ 13 人	22 人 ▲ 13 人	22 人 ▲ 13 人
産婦人科	6 人	10 人 ▲ 4 人	9 人 ▲ 3 人	8 人 ▲ 2 人	8 人 ▲ 2 人
皮 膚 科	2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人
泌 尿 器 科	3 人	4 人 ▲ 1 人	4 人 ▲ 1 人	4 人 ▲ 1 人	4 人 ▲ 1 人
眼 科	0 人	5 人 ▲ 5 人	5 人 ▲ 5 人	5 人 ▲ 5 人	5 人 ▲ 5 人
耳鼻咽喉科	3 人	3 人 0 人	3 人 0 人	3 人 0 人	3 人 0 人
リハビリテーション科	2 人	1 人 1 人	1 人 1 人	1 人 1 人	1 人 1 人
そ の 他	11 人	11 人 ▲ 0 人	11 人 ▲ 0 人	11 人 ▲ 0 人	11 人 ▲ 0 人
臨床研修医	19 人	- -	- -	- -	- -

図表 4-2-19 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

【診療所】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	59 人	79 人 ▲ 20 人	78 人 ▲ 19 人	76 人 ▲ 17 人	74 人 ▲ 15 人
内 科	40 人	36 人 4 人	36 人 4 人	36 人 4 人	35 人 5 人
小 児 科	2 人	11 人 ▲ 9 人	10 人 ▲ 8 人	9 人 ▲ 7 人	9 人 ▲ 7 人
精 神 科	1 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 0 人	1 人 0 人	1 人 0 人
外 科	1 人	4 人 ▲ 3 人	4 人 ▲ 3 人	4 人 ▲ 3 人	4 人 ▲ 3 人
脳神経外科	0 人	0 人 0 人	0 人 0 人	0 人 0 人	0 人 0 人
整形外科	5 人	8 人 ▲ 3 人	8 人 ▲ 3 人	8 人 ▲ 3 人	8 人 ▲ 3 人
産婦人科	3 人	3 人 0 人	3 人 0 人	2 人 1 人	2 人 1 人
皮 膚 科	2 人	3 人 ▲ 1 人	3 人 ▲ 1 人	3 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 0 人
泌尿器科	1 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 ▲ 0 人
眼 科	2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人
耳鼻咽喉科	2 人	3 人 ▲ 1 人	3 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 ▲ 0 人
リハビリテーション科	0 人	6 人 ▲ 6 人	6 人 ▲ 6 人	6 人 ▲ 6 人	6 人 ▲ 6 人
そ の 他	0 人	0 人 0 人	0 人 0 人	0 人 0 人	0 人 0 人

## ⑥ 大仙・仙北

大仙・仙北では、平成20(2010)年の医療施設勤務医師数が198人であったが、算出された必要医師数は304人であった。診療科別にみると、内科、外科、脳神経外科といった診療科の医師数の増員が必要との結果になった。

図表 4-2-20 主な診療科目別必要医師数(医療施設勤務医師数)の推移

【全体】

	基準値 平成20年	必要医師数			
		22年	27年	32年	37年
総数	198人	304人 ▲106人	299人 ▲101人	290人 ▲92人	276人 ▲78人
内科	76人	127人 ▲51人	128人 ▲52人	124人 ▲48人	119人 ▲43人
小児科	8人	12人 ▲4人	11人 ▲3人	9人 ▲1人	8人 ▲0人
精神科	22人	23人 ▲1人	22人 ▲0人	21人 1人	20人 2人
外科	22人	40人 ▲18人	40人 ▲18人	40人 ▲18人	38人 ▲16人
脳神経外科	6人	18人 ▲12人	18人 ▲12人	18人 ▲12人	18人 ▲12人
整形外科	15人	22人 ▲7人	22人 ▲7人	21人 ▲6人	20人 ▲5人
産婦人科	10人	11人 ▲1人	10人 0人	9人 1人	8人 2人
皮膚科	3人	4人 ▲1人	4人 ▲1人	4人 ▲1人	3人 ▲0人
泌尿器科	7人	13人 ▲6人	13人 ▲6人	13人 ▲6人	13人 ▲6人
眼科	6人	13人 ▲7人	13人 ▲7人	12人 ▲6人	12人 ▲6人
耳鼻咽喉科	8人	6人 2人	6人 2人	5人 3人	5人 3人
リハビリテーション科	6人	3人 3人	3人 3人	3人 3人	3人 3人
その他	9人	10人 ▲1人	10人 ▲1人	10人 ▲1人	10人 ▲1人
臨床研修医	0人	- -	- -	- -	- -

図表 4-2-21 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

【病 院】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	114 人	186 人 ▲ 72 人	184 人 ▲ 70 人	179 人 ▲ 65 人	171 人 ▲ 57 人
内 科	30 人	65 人 ▲ 35 人	66 人 ▲ 36 人	65 人 ▲ 35 人	62 人 ▲ 32 人
小 児 科	4 人	6 人 ▲ 2 人	6 人 ▲ 2 人	5 人 ▲ 1 人	4 人 ▲ 0 人
精 神 科	21 人	21 人 0 人	20 人 1 人	19 人 2 人	17 人 4 人
外 科	15 人	26 人 ▲ 11 人	26 人 ▲ 11 人	26 人 ▲ 11 人	25 人 ▲ 10 人
脳神経外科	5 人	17 人 ▲ 12 人	17 人 ▲ 12 人	17 人 ▲ 12 人	16 人 ▲ 11 人
整形外科	10 人	17 人 ▲ 7 人	16 人 ▲ 6 人	16 人 ▲ 6 人	15 人 ▲ 5 人
産婦人科	5 人	6 人 ▲ 1 人	5 人 ▲ 0 人	5 人 0 人	4 人 1 人
皮 膚 科	1 人	0 人 1 人	0 人 1 人	0 人 1 人	0 人 1 人
泌尿器科	5 人	11 人 ▲ 6 人	12 人 ▲ 7 人	11 人 ▲ 6 人	11 人 ▲ 6 人
眼 科	0 人	2 人 ▲ 2 人	2 人 ▲ 2 人	2 人 ▲ 2 人	2 人 ▲ 2 人
耳鼻咽喉科	4 人	3 人 1 人	3 人 1 人	2 人 2 人	2 人 2 人
リハビリテーション科	5 人	2 人 3 人	2 人 3 人	2 人 3 人	2 人 3 人
そ の 他	9 人	10 人 ▲ 1 人	10 人 ▲ 1 人	10 人 ▲ 1 人	10 人 ▲ 1 人
臨床研修医	0 人	- -	- -	- -	- -

図表 4-2-22 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

## 【診療所】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	84 人	119 人 ▲ 35 人	115 人 ▲ 31 人	110 人 ▲ 26 人	105 人 ▲ 21 人
内 科	46 人	62 人 ▲ 16 人	62 人 ▲ 16 人	59 人 ▲ 13 人	57 人 ▲ 11 人
小 児 科	4 人	6 人 ▲ 2 人	5 人 ▲ 1 人	4 人 ▲ 0 人	4 人 ▲ 0 人
精 神 科	1 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人
外 科	7 人	14 人 ▲ 7 人	13 人 ▲ 6 人	13 人 ▲ 6 人	13 人 ▲ 6 人
脳神経外科	1 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人
整形外科	5 人	5 人 ▲ 0 人	5 人 ▲ 0 人	5 人 ▲ 0 人	5 人 0 人
産婦人科	5 人	5 人 ▲ 0 人	5 人 0 人	4 人 1 人	4 人 1 人
皮 膚 科	2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 1 人	3 人 ▲ 1 人
泌尿器科	2 人	2 人 0 人	2 人 0 人	2 人 0 人	2 人 0 人
眼 科	6 人	11 人 ▲ 5 人	11 人 ▲ 5 人	11 人 ▲ 5 人	10 人 ▲ 4 人
耳鼻咽喉科	4 人	4 人 0 人	3 人 1 人	3 人 1 人	3 人 1 人
リハビリテーション科	1 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 0 人	1 人 0 人	1 人 0 人
そ の 他	0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人

## ⑦ 横手

横手では、平成 22（2010）年の医療施設勤務医師数が 189 人であったが、平成 22（2010）年に算出された必要医師数は 207 人であった。診療科別にみると、内科、整形外科といった診療科の医師数の増員が必要との結果になった。

図表 4-2-23 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

【全 体】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	189 人	207 人 ▲ 18 人	203 人 ▲ 14 人	198 人 ▲ 9 人	191 人 ▲ 2 人
内 科	69 人	93 人 ▲ 24 人	94 人 ▲ 25 人	92 人 ▲ 23 人	90 人 ▲ 21 人
小 児 科	11 人	11 人 0 人	9 人 2 人	8 人 3 人	7 人 4 人
精 神 科	9 人	14 人 ▲ 5 人	13 人 ▲ 4 人	12 人 ▲ 3 人	12 人 ▲ 3 人
外 科	22 人	19 人 3 人	19 人 3 人	18 人 4 人	18 人 4 人
脳神経外科	3 人	5 人 ▲ 2 人	5 人 ▲ 2 人	5 人 ▲ 2 人	5 人 ▲ 2 人
整形外科	12 人	20 人 ▲ 8 人	20 人 ▲ 8 人	19 人 ▲ 7 人	19 人 ▲ 7 人
産婦人科	10 人	8 人 2 人	7 人 3 人	7 人 3 人	6 人 4 人
皮 膚 科	2 人	1 人 1 人	1 人 1 人	1 人 1 人	1 人 1 人
泌尿器科	6 人	6 人 0 人	6 人 0 人	6 人 0 人	6 人 0 人
眼 科	6 人	11 人 ▲ 5 人	11 人 ▲ 5 人	11 人 ▲ 5 人	11 人 ▲ 5 人
耳鼻咽喉科	4 人	4 人 0 人	4 人 0 人	4 人 0 人	3 人 1 人
リハビリテーション科	0 人	1 人 ▲ 1 人	1 人 ▲ 1 人	1 人 ▲ 1 人	1 人 ▲ 1 人
そ の 他	14 人	14 人 0 人	13 人 1 人	13 人 1 人	13 人 1 人
臨床研修医	21 人	- -	- -	- -	- -

図表 4-2-24 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移  
【病 院】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	127 人	144 人 ▲ 17 人	142 人 ▲ 15 人	139 人 ▲ 12 人	134 人 ▲ 7 人
内 科	37 人	61 人 ▲ 24 人	61 人 ▲ 24 人	61 人 ▲ 24 人	59 人 ▲ 22 人
小 児 科	5 人	9 人 ▲ 4 人	8 人 ▲ 3 人	7 人 ▲ 2 人	6 人 ▲ 1 人
精 神 科	8 人	12 人 ▲ 4 人	12 人 ▲ 4 人	11 人 ▲ 3 人	10 人 ▲ 2 人
外 科	19 人	17 人 2 人	17 人 2 人	17 人 2 人	16 人 3 人
脳神経外科	3 人	5 人 ▲ 2 人	5 人 ▲ 2 人	5 人 ▲ 2 人	5 人 ▲ 2 人
整形外科	7 人	15 人 ▲ 8 人	15 人 ▲ 8 人	14 人 ▲ 7 人	14 人 ▲ 7 人
産婦人科	6 人	4 人 2 人	3 人 3 人	3 人 3 人	3 人 3 人
皮 膚 科	0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人
泌尿器科	4 人	4 人 0 人	4 人 0 人	4 人 0 人	4 人 0 人
眼 科	2 人	2 人 ▲ 0 人	3 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 ▲ 0 人
耳鼻咽喉科	2 人	2 人 0 人	2 人 0 人	2 人 0 人	2 人 0 人
リハビリテーション科	0 人	1 人 ▲ 1 人	1 人 ▲ 1 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人
そ の 他	13 人	13 人 0 人	12 人 1 人	12 人 1 人	12 人 1 人
臨床研修医	21 人	- -	- -	- -	- -

図表 4-2-25 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

【診療所】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	62 人	63 人 ▲ 1 人	61 人 1 人	59 人 3 人	57 人 5 人
内 科	32 人	33 人 ▲ 1 人	32 人 ▲ 0 人	32 人 0 人	31 人 1 人
小 児 科	6 人	2 人 4 人	1 人 5 人	1 人 5 人	1 人 5 人
精 神 科	1 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人	1 人 ▲ 0 人
外 科	3 人	2 人 1 人	2 人 1 人	2 人 1 人	2 人 1 人
脳神経外科	0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人
整形外科	5 人	5 人 ▲ 0 人	5 人 ▲ 0 人	5 人 0 人	5 人 0 人
産婦人科	4 人	4 人 ▲ 0 人	4 人 0 人	3 人 1 人	3 人 1 人
皮 膚 科	2 人	1 人 1 人	1 人 1 人	1 人 1 人	1 人 1 人
泌尿器科	2 人	2 人 0 人	2 人 0 人	2 人 0 人	2 人 0 人
眼 科	4 人	9 人 ▲ 5 人	8 人 ▲ 4 人	8 人 ▲ 4 人	8 人 ▲ 4 人
耳鼻咽喉科	2 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 0 人	2 人 0 人	2 人 0 人
リハビリテーション科	0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人
そ の 他	1 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 ▲ 0 人

## ⑧ 湯沢・雄勝

湯沢・雄勝では、平成22(2010)年の医療施設勤務医師数が86人であったが、平成22(2010)年に算出された必要医師数は143人であった。診療科別にみると、内科、外科といった診療科の医師数の増員が必要との結果になった。

図表 4-2-26 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

	基準値 平成20年	必要医師数			
		22年	27年	32年	37年
総数	86人	143人 ▲57人	139人 ▲53人	133人 ▲47人	128人 ▲42人
内科	36人	57人 ▲21人	56人 ▲20人	55人 ▲19人	52人 ▲16人
小児科	3人	8人 ▲5人	7人 ▲4人	6人 ▲3人	5人 ▲2人
精神科	4人	10人 ▲6人	9人 ▲5人	9人 ▲5人	8人 ▲4人
外科	8人	19人 ▲11人	19人 ▲11人	18人 ▲10人	18人 ▲10人
脳神経外科	2人	4人 ▲2人	4人 ▲2人	4人 ▲2人	4人 ▲2人
整形外科	9人	16人 ▲7人	15人 ▲6人	15人 ▲6人	14人 ▲5人
産婦人科	3人	5人 ▲2人	4人 ▲1人	4人 ▲1人	4人 ▲1人
皮膚科	1人	1人 0人	1人 0人	1人 0人	1人 0人
泌尿器科	5人	7人 ▲2人	7人 ▲2人	7人 ▲2人	7人 ▲2人
眼科	2人	5人 ▲3人	5人 ▲3人	5人 ▲3人	5人 ▲3人
耳鼻咽喉科	3人	4人 ▲1人	4人 ▲1人	4人 ▲1人	3人 ▲0人
リハビリテーション科	1人	4人 ▲3人	4人 ▲3人	4人 ▲3人	3人 ▲2人
その他	2人	4人 ▲2人	4人 ▲2人	4人 ▲2人	4人 ▲2人
臨床研修医	7人	- -	- -	- -	- -

図表 4-2-27 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

【病 院】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	53 人	100 人 ▲ 47 人	97 人 ▲ 44 人	93 人 ▲ 40 人	90 人 ▲ 37 人
内 科	14 人	32 人 ▲ 18 人	32 人 ▲ 18 人	31 人 ▲ 17 人	30 人 ▲ 16 人
小 児 科	1 人	6 人 ▲ 5 人	5 人 ▲ 4 人	4 人 ▲ 3 人	4 人 ▲ 3 人
精 神 科	4 人	9 人 ▲ 5 人	8 人 ▲ 4 人	8 人 ▲ 4 人	7 人 ▲ 3 人
外 科	8 人	18 人 ▲ 10 人	18 人 ▲ 10 人	18 人 ▲ 10 人	17 人 ▲ 9 人
脳神経外科	2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人
整形外科	7 人	13 人 ▲ 6 人	13 人 ▲ 6 人	12 人 ▲ 5 人	12 人 ▲ 5 人
産婦人科	1 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人
皮 膚 科	0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人
泌 尿 器 科	3 人	5 人 ▲ 2 人	5 人 ▲ 2 人	5 人 ▲ 2 人	5 人 ▲ 2 人
眼 科	1 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 ▲ 0 人
耳鼻咽喉科	2 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 ▲ 0 人
リハビリテーション科	1 人	1 人 ▲ 0 人	1 人 0 人	1 人 0 人	1 人 0 人
そ の 他	2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人	4 人 ▲ 2 人
臨床研修医	7 人	- -	- -	- -	- -

図表 4-2-28 主な診療科目別必要医師数（医療施設勤務医師数）の推移

## 【診療所】

	基準値 平成 20 年	必要医師数			
		22 年	27 年	32 年	37 年
総 数	33 人	43 人 ▲ 10 人	42 人 ▲ 9 人	40 人 ▲ 7 人	38 人 ▲ 5 人
内 科	22 人	25 人 ▲ 3 人	25 人 ▲ 3 人	24 人 ▲ 2 人	23 人 ▲ 1 人
小 児 科	2 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 0 人	1 人 1 人	1 人 1 人
精 神 科	0 人	1 人 ▲ 1 人	1 人 ▲ 1 人	1 人 ▲ 1 人	1 人 ▲ 1 人
外 科	0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人	0 人 ▲ 0 人
脳神経外科	0 人	0 人 0 人	0 人 0 人	0 人 0 人	0 人 0 人
整形外科	2 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 ▲ 0 人	2 人 ▲ 0 人
産婦人科	2 人	2 人 0 人	2 人 0 人	1 人 1 人	1 人 1 人
皮 膚 科	1 人	0 人 1 人	0 人 1 人	0 人 1 人	0 人 1 人
泌尿器科	2 人	2 人 0 人	2 人 0 人	2 人 0 人	2 人 0 人
眼 科	1 人	4 人 ▲ 3 人	4 人 ▲ 3 人	3 人 ▲ 2 人	3 人 ▲ 2 人
耳鼻咽喉科	1 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人	2 人 ▲ 1 人	1 人 ▲ 0 人
リハビリテーション科	0 人	3 人 ▲ 3 人	3 人 ▲ 3 人	3 人 ▲ 3 人	3 人 ▲ 3 人
そ の 他	0 人	0 人 0 人	0 人 0 人	0 人 0 人	0 人 0 人

